

定期作況報告

(平成22年8月20日現在)

北海道立上川農業試験場天北支場

I 気象概況

7月下旬から8月中旬までの気象は以下のように推移した。

7月下旬：平均最高気温が23.7℃（対平年比+2.8℃、以下同じ）、平均最低気温が16.8℃（+2.4℃）といずれも平年より高かったため、平均気温は20.0℃（+3.9℃）と平年より高かった。降水量は125.0mm（245%）と平年より多かった。日照時間は38.0時間（93%）と平年並であった。畑地温は18.8℃（+2.8℃）と平年より高かった。

8月上旬：平均最高気温が27.1℃（+4.0℃）、平均最低気温が19.9℃（+3.1℃）と平年より高かったため、平均気温は23.4℃（+5.9℃）と平年より高かった。降水量は38.0mm（112%）と平年並であった。日照時間は66.5時間（155%）と平年より長かった。畑地温は21.0℃（+3.6℃）と平年より高かった。

8月中旬：平均最高気温が25.4℃（+2.3℃）、平均最低気温が18.5℃（+3.0℃）といずれも平年より高かったため、平均気温は21.6℃（+1.9℃）と平年より高かった。降水量は55.0mm（163%）と平年より多く、日照時間は56.3時間（114%）と平年並だった。畑地温は20.4℃（+2.4℃）と平年より高かった。

以上、この期間を要約すると平均気温の3旬の平均は21.6℃（+3.9℃）と平年より高かった。降水量の3旬の合計は218.0mm（184%）と平年より多かった。日照時間の3旬合計は160.8時間（121%）と平年よりやや長かった。畑地温は20.0℃（+2.9℃）と平年より高かった。

4月からの主気象要素の積算値（畑地温は5月から）は、平均気温、降水量、日照時間、畑地温はいずれも平年並に推移している。

a. 気象表

項目	7月下旬			8月上旬			8月中旬			3旬平均または合計		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温 (℃)	20.0	16.1	3.9	23.4	17.5	5.9	21.6	19.7	1.9	21.6	17.7	3.9
平均最高気温 (℃)	23.7	20.9	2.8	27.1	23.1	4.0	25.4	23.1	2.3	25.3	22.3	3.0
平均最低気温 (℃)	16.8	14.4	2.4	19.9	16.8	3.1	18.5	15.5	3.0	18.3	15.5	2.8
降水量 (mm)	125.0	51.0	74.0	38.0	33.8	4.2	55.0	33.8	21.2	218.0	118.6	99.4
降水日数 (日)	6	5	1	2	4	△ 2	5	3	2	13	12	1
日照時間 (hrs)	38.0	40.8	△ 2.8	66.5	42.8	23.7	56.3	49.6	6.7	160.8	133.2	27.6
平均畑地温 (10cm, ℃)	18.8	16.0	2.8	21.0	17.4	3.6	20.4	18	2.4	20.0	17.1	2.9
最多風向	SSW			SW			SSW					
平均風速 (m/s)	3.7			2.9			2.8					

注1) 平均畑地温は上川農試天北支場のデータ、その他の観測値は浜頓別アメダスのデータ。

2) 平年値は前10か年の平均より上川農試天北支場作成。

3) 降水量、降水日数、日照時間の3旬平均欄は3旬の合計値。

4) △印は対平年値比減を示す。

b. 主気象要素積算値（4月21日～8月20日）

	平均気温 (℃)	降水量 (mm)	日照時間 (hrs)	畑地温 (℃)
本年	1,741	434	634	1,463
平年	1,589	368	569	1,255
比較	152	65	65	208

1) 畑地温は5月21日～8月20日の値。

Ⅱ 作 況

1. 採草型 チモシー（2番草）

作況：不良

事由：前番草刈取り後の再生には特に問題はなかったが、その後の生育は停滞した。2番草刈取り時は出穂茎及び節間伸長茎がほとんどなく、草丈、収量のいずれも平年より低かった。2番草生育期間は降水は十分にあったものの、気温が高く推移しており、高温による生育の停滞が生じたものと考えられる。

以上より、目下の作況は不良である。

調査項目：

収 穫 期（月・日）			収 穫 時 草 丈（cm）		
本年	平年	比較	本年	平年	比較
8.18	8.15	3	49	71	△22

注）平年値は前7か年のうち、平成19年（最凶年）及び平成20年（最豊年）を除いた5か年平均値。

生草収量（kg/10a）			乾 物 率（％）			乾物収量（kg/10a）			
本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	平年比
646	1,256	△610	24.9	21.7	3.2	161	275	△114	59 %

2. 放牧型 ペレニアルライグラス（4番草）

作況：不良

事由：本年の4番草は草丈、収量のいずれも平年より低かった。チモシー同様、高温による生育の停滞が発生したと考えられる。

以上より、目下の作況は不良である。

調査項目：

草 丈（cm）		
本年	平年	比較
31	38	△ 7

生草収量（kg/10a）			乾 物 率（％）			乾物収量（kg/10a）			
本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	平年比
592	933	△341	20.0	19.5	0.5	118	180	△62	66 %

注）平年値は前7か年のうち、平成18年（最豊年）及び平成19年（最凶年）を除いた5か年平均値。